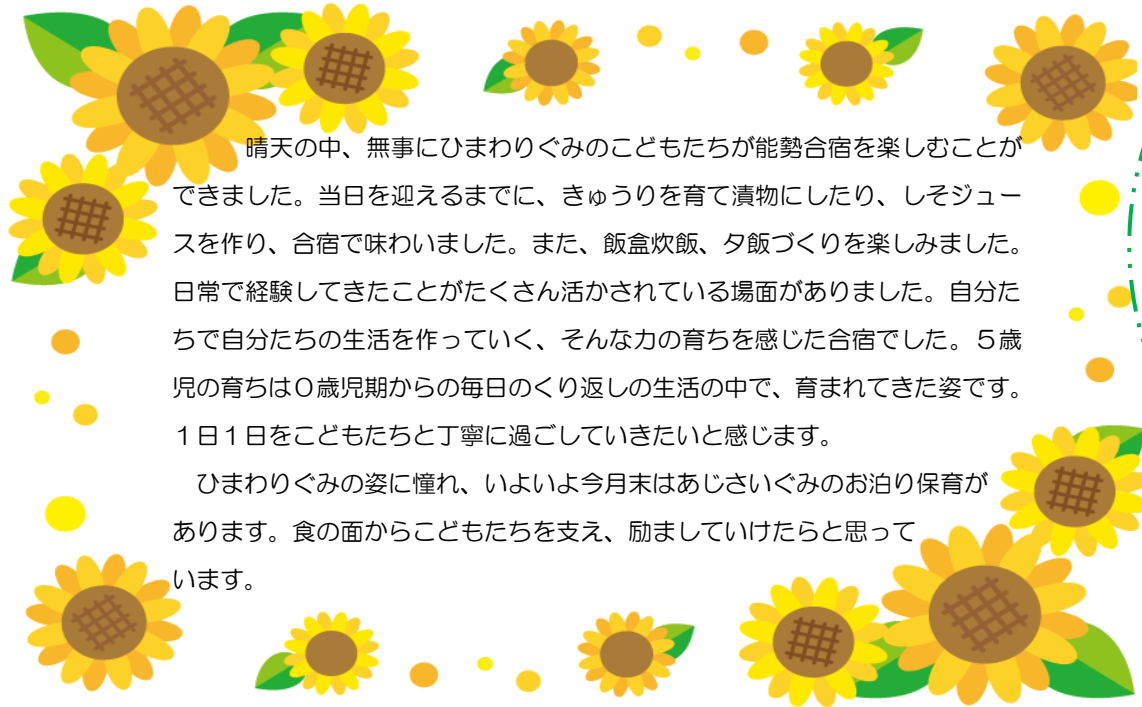


# 8月 給食だよ!



晴天の中、無事にひまわりぐみのこどもたちが能勢合宿を楽しむことができました。当日を迎えるまでに、きゅうりを育て漬物にしたり、しそジュースを作り、合宿で味わいました。また、飯盒炊飯、夕飯づくりを楽しみました。日常で経験してきたことがたくさん活かされている場面がありました。自分たちで自分たちの生活を作っていく、そんな力の育ちを感じた合宿でした。5歳児の育ちは0歳児期からの毎日のくり返しの生活の中で、育まれてきた姿です。1日1日をこどもたちと丁寧に過ごしていきたいと感じます。

ひまわりぐみの姿に憧れ、いよいよ今月末はあじさいぐみのお泊り保育があります。食の面からこどもたちを支え、励ましていけたらと思っています。

## 食べることと平和について考える

今、世界ではロシアとウクライナが戦争をしています。日本では、今年終戦77年、沖縄返還50周年の年を迎えます。8月5日の「平和のつどい」では、こどもたちと共に今世界で起きていることにも目をむけながら、改めて平和について考え合う機会にしたいと思っています。

今は、食べたいものが食べたい時に好きなだけ食べられる世の中です。戦時中は、食べ物や生き物が育つ場や時間がなかったことなども、田植えや苗植えに関わった経験から考えられるのではないかと考えています。豊食な時代だからこそ、お皿に残ったごはん粒一つにも命が宿っていることを感じにくい姿もあります。こどもたちと、今ある平和な日常にある幸せを感じながら、給食を食べていきたいと思っています。

そして、一刻も早く世界中から戦争がなくなることをみんなで願いたいと思います。



## 野菜の『さいばいきろく』



7月は各クラスで育てている夏の野菜がたくさん収穫できました。

苗や種を植えてから実際に野菜ができるまでの過程にたくさん関わってきました。

つくしぐみでは黄色く育ったトマトをスープに入れて食べたり、たんぼぼぐみは太陽の光をたくさん浴びたトマトをかじって食べました。すみれぐみでは、育ったきゅうりを生で食べるだけでなく、梅和えを作ってたべました。なのはなぐみでは、グループごとにいろいろなトマトを育てています。実ったトマトを見比べ、食べ比べしながら味わっています。あじさいぐみでは、青じそをふりかけにしたり、ピーマンでカレーをつくったり、幼児になると「育てて、作って、食べる」全ての過程にこどもたちが関わっています。自分たちで育てる経験を通して、乳児では採れたての味を知る機会になり、幼児では食物の命を感じ大切に味わう気持ちの育ちにもつながればと思っています。

本園では、育てている野菜の栽培記録を写真と共に掲示しています。(玄関前) ぜひ、こどもたちと一緒に見てみてください。



## 身体の育ちとともに

～すみれぐみの姿より～



先日、給食の時間に「みて、こうやってもつねんで」「おにいちゃんもちや」と言いながら、スプーンを三指（親指、人差し指、中指）で持っているすみれぐみさんの姿がありました。

体重が増え身長が伸び、日々の生活、全身運動や指先を使ったあそびなどを経て子どもたちの身体は中心（体幹）から末端（指先）へと育っていきます。

近頃、お箸を持てるようにと子ども用の矯正箸などが売られていますが、スプーンやお箸なども、身体の育ちにあわせて徐々に段階を踏みながら持てるようになればと考えています。

下手持ちや上手持ち、三指持ちがそれぞれ子どもたちの手指、身体の育ちに合わせて『無理をして持たせる』のではなく、こども自身の食べたい意欲と共に、お箸を使って食べる文化として大人が丁寧に伝えていくことを大切にしたいと思います。

